

旧赤松家だより

令和2年3月11日



赤松則良の妻、貞^{てい}。

奥医師 林洞海の二女として生まれ、14歳で則良に嫁ぎ15歳で第1子を出産、子宝に恵まれ17人の子どもを産みました。

明治32年、44歳の頃、則良と共に移り住んだこの磐田の地は、貞にとってどのような場所となったのでしょうか。

記念館には、貞が正装として着た桂^{うちき}が展示してあります。紫の地に白糸で家紋の竜胆車^{りんどうくるま}を織り込んである西陣織の見事な一品です。

是非、ご覧ください。お待ちしております。



内蔵1階ギャラリーでは、11日から國分敏弘さんの刃物で描く切り絵展を開催しています。切り絵は工芸として扱われますが、國分さんは絵画として描いて(切って)、懐かしさを作品に込めて制作をしているそうです。ぜひ、ご覧ください。

内蔵ギャラリーのご案内

『刃物で描く』切り絵展

開催期間：3月11日(水)～3月22日(日)

* 休館日 3月16日(月)

開催時間：午前9時～午後4時30分

(最終日は午後3時まで)

入場料：無料

出展者：國分敏弘

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



展示作品から